

科目名		授業形態	担当教員名	
地域理学療法学総論		講義	酒巻 直美	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
16 時間（1 単位）		8 回	2 年次	後期
授業の目的・概要				
現在の保健・医療・福祉の制度や動向の変化は著しく、特に介護保険導入後めまぐるしく変化しており、それに伴い、地域リハビリテーションの中の地域理学療法分野もより充実・発展してきている。諸制度や関連機関との多職種連携を学び、地域リハビリテーション活動の中の理学療法分野の知識の修得と、生活期の理学療法士の役割について理解することを目的とする。				
授業の到達目標				
1. 地域リハビリテーションと地域理学療法に関わる知識を得る。2. 介護保険について学び、介護保険下での理学療法、および介護予防について理解できる。3. 生活期の理学療法について理解できる。4. 地域包括ケアシステムや障害者総合支援法下での理学療法士の役割を理解できる。				
授業計画				
回	内容			
1	地域リハビリテーションと地域理学療法			
2	生活期の理学療法			
3	介護保険制度			
4	介護保険下での理学療法(1)			
5	介護保険下での理学療法(2)			
6	介護予防			
7	地域理学療法の実際			
8	地域包括ケアシステム、その他の分野での理学療法 まとめ			
成績の評価法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
定期試験	80%			
レポート				
小テスト				
平常点		出席状況・授業態度について総合点に加味する。		
その他	20%	講義録の提出と宿題実施状況。課題の実施および提出状況。		
自由記載	課題や講義録の提出については指示を守ること。			
教科書				
書名	著者・編集者名		出版社名	
なし				
自由記載	随時プリントを配布する。			
参考文献				
書名	著者・編集者名		出版社名	
自由記載				
備考				